

福岡県学力・学習状況調査と福岡市学習定着度調査の結果と 今後の取組について

平成23年9月から10月にかけて、福岡県における学力・学習状況調査と福岡市学習定着度に関する調査が中学校3年生を対象に実施されました。その結果の報告と今後の取組についてお知らせします。

福岡県における学力・学習状況調査では、国語と数学の2教科について、基礎的な学習内容と応用・発展的な内容に分けて調査が行われました。下の表は、福岡市全体の正答率と比較して、本校生徒の正答率がどのような位置にあるかを示したものです。

中学校3年生	国語	基礎的な内容	同程度である
		応用・発展的な内容	同程度である
	数学	基礎的な内容	同程度である
		応用・発展的な内容	同程度である

福岡市学習定着度に関する調査では、中学3年生の国語・社会・数学・理科・英語の5教科について調査が行われました。下の表は、福岡市全体の正答率と比較して、本校生徒の正答率がどのような位置にあるかを示したものです。

中学校3年生	国語	やや上回っている
	社会	やや上回っている
	数学	同程度である
	理科	同程度である
	英語	やや上回っている

福岡県と福岡市の両調査から、和白中学校の3年生は、概ね満足できる学力が身につけているといえます。このことは、本校の生徒が日頃の学習や生活にまじめに取り組んでいる成果の表れといっておよいでしょう。

しかし、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりするのが苦手な生徒が多いことや生徒間の学力差が大きいことが課題として見えてきました。また、朝食を毎日食べていない生徒や自宅学習が1時間未満の生徒が多いということも調査結果から分かりました。

以上のことから、今後、本校ではすべての学年において次のような取組を進めていきます。

国語	自分の考えや感想などを書き、文章にまとめる取組を行います。
社会	授業で学んだ知識を活用し、関連付け説明する活動に力を入れます。
数学	基礎基本の定着のためのドリル学習と、身につけた知識を活用して応用問題に取りくむ時間を多く取り入れます。
理科	授業の中で理由や関係を考える場面を多く取り入れます。
英語	英語で自分の考えを伝える活動を多く取り入れます。

ご家庭でも、「早寝・早起き・朝ごはん」、和中華標準「学年プラス1時間の自宅学習」にご協力ください。